

# よしかわ 議会だより

No.152

平成23年11月臨時会・12月定例会

謹 賀 新 年



4年間ありがとうございました

## ■ 主な内容

- ②～③ 吉川美南駅開業へ向け関係条例を可決、第5次総合振興計画策定へ
- ④～⑦ 答えて市長！一般質問
- ⑧～⑨ 常任委員会の審査から
- ⑩ 審議結果・編集後記

# 平成23年 第7回定例会

## 吉川美南駅3月17日開業へ向け 駐車場条例などを可決、 第5次吉川市総合振興計画策定へ

今定例会は12月2日から16日までの会期で開催され、市長提出議案13件、議員提出議案3件が上程されました。

### 市長提出議案

#### 吉川美南駅東口に 暫定駐車場を設置

平成24年春の吉川美南駅の開業に伴い、東口に暫定駐車場を設置するため、条例を定めるものです。

●吉川美南駅東口暫定駐車場（自動車駐車場）

・一時利用

1時間当たり100円

（24時間以内の上限は

700円）

・定期利用

1月当たり7千円

●吉川美南駅東口暫定自転車駐車場（自転車・原動機付自転車・小型自動二輪車）  
無料



東口に整備がすすむ暫定駐車場

#### 吉川美南駅自由通路の設置及び管理に関する条例

吉川美南駅の開業に伴い、歩行者の往來の利便を図るため自由通路を設置し、快適な利用のため禁止行為等を条例で定めるものです。

#### 指定管理者の指定について

老人福祉センターの指定管理者である吉川市連合長寿会の指定管理の期間が平成24年3月31日に満了となるため、再度指定するものです。

#### 【指定管理の期間】

平成24年4月1日から

平成27年3月31日まで

指定管理者制度とは、公の施設の管理運営に民間活力を導入し、市民サービスの向上を図ることを目的とした制度です。吉川市では、老人福祉センターの他、市民交流センターおあしや市立図書館などで指定管理者制度を導入しています。

#### 人事案件

#### 人権擁護委員

立澤 秀子（新任）

#### 「人とまちが輝く快適都市よしかわ」を目指して…

第4次吉川市総合振興計画が平成23年度に満了することから、市の新たな10カ年計画となる第5次吉川市総合振興計画（基本構想）を定めるものです。

●目標年次

平成33年度

●まちづくりの基本理念

・市民の幸福感の向上

・吉川市の価値を高める

・共にまちを想い、共にまちを創る（共想・共創）

総合振興計画とは、吉川市の目指すべき将来都市像やまちづくりの目標の実現のため、市政運営の長期的な指針を示すことを目的として策定するものです。



間もなく満了となる第4次総合振興計画

一般会計補正予算  
(第5号)

歳入歳出

△4千870万1千円

【主な事業】

●子ども手当支給事業

△2億7千89万5千円

●生活保護事業

1億3千728万5千円

●障がい者更生援護事業

1千584万5千円

●予防接種事業

1千555万3千円

●幼稚園就園補助事業

1千442万6千円

●道路維持補修事業

1千51万7千円

●駐輪場等管理事業(吉川美南駅東口暫定駐車場の駐車券発券機設置工事費など)

946万7千円

●子育て支援センター等運営事業(市内3か所目となる子育て支援センターの開設準備費など)

481万8千円

●用排水路維持管理事業

363万4千円

●道路照明灯整備事業

215万円

特別会計等補正予算

●下水道事業

△1千110万9千円

●水道事業会計

収益的収入

149万2千円

収益的支出

△2千552万2千円

資本的収入

△2億1千919万5千円

資本的支出

△1億7千220万8千円

臨時会が  
開催されました

◆平成23年11月14日

東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い発生した放射性物質の飛散により、放射線量の高くなった地域・施設等を除染するための補正予算が可決されました。  
・除染対策事業  
9千93万円

◆平成23年11月29日

市職員の給料月額を平成23年4月に遡って引下げるとともに、市長、副市長、教育長の給料月額を減額することが可決されました。

議員研修会に  
参加しました

平成23年11月8日に八潮メセナにて開催された東南部正副議長会主催の議員研修会に当市から15名が参加しました。

当日は、明治大学危機管理研究センター所長の中邨章氏より、「自然災害に対する議会の役割」大災害の悲劇を知恵に「をテーマに、これからの議会が緊急時に担う役割についてのお話を伺いました。

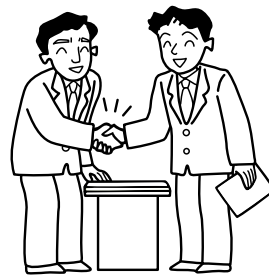
東南部正副議長会は吉川市のほか、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、松伏町の正副議長で組織する団体です。



行政視察に  
来庁しました

吉川市には、議会を通じ、全国の議会から調査・研究のための視察が訪れています。

秋田県大館市議会  
【視察日】  
平成23年10月20日



【視察日】  
平成23年11月7日

【内容】

・議会代表質問について  
・政務調査費検討協議会について

北海道恵庭市議会  
【視察日】  
平成23年11月7日

【内容】

・介護ボランティア制度について

富山県南砺市議会  
【視察日】  
平成23年11月15日

【内容】

・歯科保健事業について  
・病児、病後児保育について

平成24年3月  
定例会の予定

○2月27日  
本会議

○2月28日  
本会議(代表質問)

○3月1日  
本会議(議案審議)

○3月2日  
本会議(議案審議)

○3月6日  
委員会(議案審査)

○3月7日  
委員会(議案審査)

○3月8日  
委員会(議案審査)

○3月9日  
委員会(議案審査)

○3月12日  
委員会(請願審査)

○3月14日  
本会議(委員長報告)

○3月19日  
本会議(一般質問)

○3月21日  
本会議(一般質問)

○3月22日  
本会議

(一般質問・閉会)



# 答えて市長！

## 一般質問

一般質問は12月14日、15日、16日の3日間にわたって行われ、11人の議員が活発な論戦を展開しました。質問・答弁ともに質問者が要約していますが、詳細な内容は会議録をご覧ください。会議録はホームページや市立図書館等で閲覧できます。なお、最新の会議録の提供までには3カ月程度かかります。

### 放射能除染対策について現状は

中嶋 通治

**問** 中井沼公園、第一調整池、アクアパークについて計測は行われたのか。

**答** 政策室長 10月17日より、学校、公園、保育所を中心に計測し、10月21日に中井沼、11月15日にアクアパーク、11月16日に第一調整池の測定を行なった。第一調整池については、放射線量の高い地点について緊急除染を実施した。  
**問** 除染の目安として側溝の上、縦樋の下等、数値が高い場所等計測する予定は。  
**答** 政策室長 重点的に計測を行なっています。

**問** 住宅地の除染計画について、基準値を越し、個人で除染した場合に保管場所はどの様にするのか。

**答** 政策室長 各自の敷地に埋設することをお願いしています。

**問** 通学路等広範囲に亘る除染について市民と協働しての計画は有るのでしょうか。

**答** 政策室長 今後自治会長等にお願する機会を持ち

ます。

◆放射能に汚染された土砂の不法投棄について

**問** 国民の安全安心を守るべき立場にある環境省の職員が常磐道傍の市道に汚染された土砂を不法投棄したとの報道があるが、現状はどの様になっているのか。

**答** 市長 11月13日に投棄され、17日に環境省職員によって回収され、翌18日に投棄場所を測定したが、周辺の線量と同程度である。環境省には遺憾の意を伝えた。

### 防犯灯照度アップ事業の展開で安全・安心のまちづくりを

互 金次郎

**問** 「夜間のいちよう通りの歩道は暗く危険だ」との声をいただきました。LED照明など従来型の防犯灯と比較し、省電力・長寿命・照度アップと費用対効果の高い防犯灯も普及し防犯灯照度アップ事業を展開する自治体もあります。照度の測定調査を実施し、暗く危険な箇所では高照度のものとの交換、照

度確保の妨げとなる樹木の剪定をする等、「防犯灯照度アップ事業」を展開し安全・安心のまちづくりを。

**答** 市長 来年度より新設の防犯灯にはLEDを導入し、照度等の調査結果に応じた対策を実施し安全確保に努めます。

◆読み書きサービスで視覚障がい者や高齢者支援を

**問** 目が不自由な方や高齢の方から「書類の字が小さくて読めない」「内容が良く理解できない」「字を書くのが苦手だ」等の声があります。「読み書きサービス事業」の導入を検討すべきでは。

**答** 市長 既存のサービスも含め効果的な情報支援のあり方を総合的に研究します。

◆緊急災害時の情報提供にエリアメールの導入を

**答** 市長 事前登録せずに情報が得られる利点があり、実施に向け検討します。



## 女性の視点からの 防災対策について

五十嵐 恵千子

(問) ①女性の意見を普段の防災対策や地域防災計画などに反映できるようにすべきでは。

②避難所運営ゲームを取り入れ、自主防災組織等と連携した防災訓練を実施すべきでは。

③災害時の緊急物資の中に、女性や子ども、高齢者、障がい者に配慮した物資の備蓄を。

④被災者支援システムを活用した災害時要援護者リストの作成・活用について。

⑤防災教育の現状と各学校へ災害時に地域の窓口となる防災担当職員の配置を。

(答)市長 ①現在、吉川市防災会議の構成員はすべてが男性。今後計画の見直しを進めるにあたり、どのような面で女性の視点が必要か検証します。

②この避難所運営ゲームも取り組めるよう検討したい。

③現在、障がい者用の組み立て式トイレや乳児用の粉ミルクを各避難所等に備蓄。今年度は子どもや高齢者のために、2リットルのペット

ボトル保存水を購入。今後も現状を踏まえ、物資の備蓄に努めていきたい。

④被災者支援システムの中で有効に活用できるのか検討。

⑤地域の特性や学校の実態等を踏まえ、防災教育を充実させています。災害時、学校が避難所としての機能を果たせよう、連携協力をします。

◆子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン無料接種の継続を

(問) 年度末までの国の補助事業が期限切れになった場合は。

### 住宅リフォームポイント 制度の導入を

小野 潔

(問) 住宅リフォームにより一定のポイントを付与し、そのポイントを吉川市内で

使えるような商品券に代え、広く地域経済の活性化に役立てる「住宅リフォームポイント制度」を、臨時

国会の第3次補正予算で1千446億円を計上し復活した「住宅エコポイント制

度」と連動させ導入しては。

(答)市長 経費の面、運用システム等課題が多いため研究してまいります。

◆駅南の路線バス道路の整備

(問) 「駅南地域の路線バス経路の道路損傷状況等の点検、整備を」特に市道2-689号線中曾根2-17メートル

市道2-365号線木売2-15-2-20の区間。市民よりひび割れ凸凹により振動が激しい為補修をとの声が多く寄せられている。

(答)都市建設部長 週2回の道路パトロールにて点検している。ご指摘の箇所を含め石綿管敷設工事に合わせて修繕したい。

◆自転車通学の中学生にLED点滅バルブキャップの配布を

(問) 警察庁では平成23年10月自転車交通秩序の総合対策をまとめ「歩道幅2メートル以上」で認めてきた自転車の通行を「3メートル以上」に見直し、原則自転車は車道を走らせるとした。夜間車道

を走る中学生や一般の方に事故防止を図り、マナー向上の為にLED点滅バルブキャップを配布しては。

(答)教育部長・市民生活部長 事故防止等を図る為検討する。



自転車の安全走行対策は…

### 県内30自治体が実施の高齢者 肺炎球菌ワクチン助成を

小林 昭子

(問) 年間11万2千人が肺炎で死亡しており死亡原因の第4位、その95%が65歳以上の高齢者です。肺炎から高齢者を守るワクチン接種助成を。

(答)市長 国は予防接種部会で成人肺炎球菌等7種のワクチン定期接種に向けた議論をしているので動向を注視する。

◆小松川工業専用地域問題

境条例に基づき事業者の説明会が開かれたが市民の理解は得られないまま閉会した。「指導の範疇」とする県条例では公害防止は徹底させることはできない。歯止めができる法整備を関係機関に働きかけを。

(答)市長 県に対し、産業廃棄物処理業は「建屋内で行なうことを条件に許可するよう」産業廃棄物処理業の許可に関する手続きを定める要領の改正を求める要望書を提出した。

◆放射線量測定活動から

(問) 市内でも高い地域、民家では雨どいの下、市道U字溝蓋格子部分は放射線量が高い。野菜の放射線量測定希望が強い。測定をすすめ除染を。

(答)市長 子ども達の利用する施設、通学路、側溝等23年度内を目標に、24年4月以降第2次計画を策定する。12月下旬、食品測定可能な機器の貸与が決定し運用について検討している。

◆二ツ沼生活道路の整備を

(答)都市建設部長 雨水が溜まらない様道路補修します。

産廃企業の申請で市環

## ペットと共生できる 街を創る

安田 真也

(問) ドッグラン構想の進展は  
(答) 都市建設部長 過去に  
ドッグパーク幸手、舎人ドッ  
グランの視察を行い、道庭緑  
地のけやき通り東側を利用  
可能用地として検討したが、  
住民の理解が得られず、さら  
に運営主体が定まらないた  
め、設置にいたらなかった。  
今後についても適地の選定  
や、運営方法など引き続き検  
討していく。

避難所、仮設住宅はペットと  
一緒にの想定になっているの  
か。

今後の改定では是非想定  
するように要望する。併せて  
獣医師会の各連絡先、様式  
9号(避難者カード)にペッ  
トの有無、種類を改定地域防  
災計画に記載するよう検討  
をお願いする。  
(答) 市民生活部長 現在は数  
値に含まれていない。

## 産業廃棄物中間処分業者進出 に対し、市の行った対応は

稲垣 茂行

◆被災ペットを守る  
(問) 地域防災計画における  
被災ペットの位置づけにつ  
いて。

(答) 市民生活部長 地域防災  
計画において災害時におけ  
る動物愛護の位置づけがな  
されており、また、動物愛護  
団体から災害時の動物救援  
体制の強化について要望書  
をいただいている。今後は動  
物関連団体との協議をもと  
に先進地の取り組みを参考  
にしながら研究していく。  
(問) 現在の地域防災計画の

(問) 産廃業者進出に対する、  
市の対応と今後の取り組み  
は。

(答) 市長 環境配慮事業実施  
計画の提出を受け、環境保全  
協定の締結を求めるとも  
に、説明会を開催させ、住民  
要望に沿った施設とする様  
指導した。また、県に対し『建  
物と同等の効果のある粉塵  
対策を講じるよう』お願いし  
た。  
(問) 進出に反対する吉川市  
民一人を超えて『署名』を  
どう受け止めているのか。

(答) 市長 署名については、県  
が受け取ったと聞いている。  
小松川工専地区に産廃業者  
8社が操業しており、現在の  
法体系では、市に進出防止の  
裁量権がないことから、許認  
可権を持つ県に対し、要望書  
を提出した。内容は、①小松  
川工専地区の事業主・世帯主  
の同意を求めるよう要領を  
改正すること。②産業廃棄物  
処理業は、建屋内で行なうこ  
とを条件に許可すること。

(問) 市は今後、どのような対  
策を講じ、小松川の『産廃団  
地化』を防止するのか。  
(答) 市長 これまでも、環境  
保全条例に規定した環境保  
全協定制度を改定し、緑地  
や駐車場の確保を義務付け、  
新たな事業者の進出抑制を  
図った。  
経済環境が厳しい現在、今  
後も新たな事業者の進出が  
予想されることから、特定業  
種の進出を抑える為、『地区  
計画』や『建築協定』など、  
考えられる対策を研究して  
いきたい。

## どこでもだれでも自由に利 用できる交通網の整備計画を

遠藤 義法

(問) 交通が不便な地域、高齢  
者、障がいを持つ方々が病院  
や公共施設、買い物に気軽に  
外出できる交通手段を求めて  
います。交通網の整備計画は。  
埼葛クリニック前交差点は  
朝夕渋滞しており、右折帯を  
設置すべきである。

(答) 市長 市民要望に基づき  
バス事業者と協議をすすめて  
バス路線の整備をすすめて  
いる。利用者を交えた協議会  
を開く計画はありません。



交通網の充実が求められているが…

(答) 都市建設部長 吉川美南  
駅開業後さらに混雑が予想  
されるので、県に右折帯の設  
置を要望していく。

## ◆水道水フロリデーシオン は中止すべき

(問) 市民から市の水道水に  
フッ素を添加することに疑  
問や反対の声が寄せられて  
います。学者、医師、専門家  
でも賛成、反対と見解が分か  
れており、市民への正確な情  
報提供というなら反対意見  
や国がどうして積極的に実  
施しないのか、諸外国で中止  
している実態等知らせてい  
くべきである。

(答) 市長 最近、平成24年度か  
ら実施との噂が流れている  
が、市民の理解と合意が前提  
であり、実施は未定である。  
安全な水道水の供給の前提に  
立って今後も検討していく。  
(答) 健康福祉部長 虫歯予防  
に効果があることが立証さ  
れているが、危険性を指摘す  
る市民や団体があり、今後は  
これまでの情報提供に合わ  
せて、疑問に対する危険性につ  
いても市民に紹介してい  
きたい。

### 学校給食食材の放射線量の測定を

高野 昇

問 放射線対策を進めるために、食品検査用の測定機器の導入を。

答 市長 12月下旬以降に、食品検査に使用できる測定器として、簡易型ガンマ線スペクトロメーターを独立行政法人国民生活センターより貸与頂けるので、現在運用を検討しています。

問 学校給食食材の放射性物質検査は、保護者からの不安の声と、検査を望む声も多く聞かれます。学校給食食材への放射性物質の検査実施を。

答 教育長 この度、放射性物質検査機器の貸与が決定しましたので、今後検査体制が整い次第、給食食材の放射性物質検査を実施してゆきます。

### 平沼地区道路後退用地整備

問 整備を求め、何回か質問もさせていただきました。あらためて整備の予定について伺います。

答 都市建設部長 1月中旬に整備を予定しています。

### 県道関会野谷線歩道整備を

問 関橋から磯久クリニックスまでの歩道は段差や傾きがあり車椅子などでの通行がとても危険です。植え込みのある場所は道路幅も狭く、自転車同士のすれ違いの際も危険であり、整備を。

答 都市建設部長 歩道の凸凹の箇所は今後補修します。植え込みのある箇所については、12月10日に枝の剪定を行いました。



市民に貸し出される放射線量計

### 国保税、過重な負担への対策は

佐藤 清治

問 日本共産党市議団では毎年「市民アンケート」を実施しており今年も5000通を越える回答が寄せられている。

その中で国保税を引き下げて欲しいとの声が26名からありました。

国保加入者の中で所得がゼロから200万円までの世帯が全体の7割を越える状況の中で、4人家族で所得200万円という世帯の場合、国保税は30万9千100円となり、とても払いきれぬものではありません。

引き下げてとの声に応えるべきだと思いが市の対策は。

答 市長 国保税を下げられる状況にはないと考えておりますが、国の国保税の限度額が引き上げられておりますので市の限度額を見直す中で低所得者への配慮につきましても検討してまいります。

### 市長の原発に対する認識と市の放射性物質への対策は

東京電力福島第1原発事故は日本と世界の人々に大きな衝撃を与えた。原発に依存したエネルギー政策をこのまま続けていいのかという重大な問題をつきつめた。

市長の見解を伺います。

答 市長 中長期的には原子力に過度に依存しないエネルギー政策への転換が望ましいと考えている。

問 市の除染への対応は。

答 市長 子ども達が利用する施設は平成23年以内、全面除染が必要な場所を優先的にすすめる。通学路・側溝などは平成23年度内を目標にすすめる。

### 新庁舎は4、5年後に完成か

伊藤 正勝

問 市役所は防災センターとしての役割も大きい。新庁舎建設へ向けての思い、スケジュールを伺いたい。

答 市長 出来るだけ早くという思いに変わりはなく、「庁舎建設検討委員会」で新築についての考えをいただいた上で、市民意見なども聞き決断をしたい。基本設計、実施設計を行い、順調にいけば完成は4、5年後になるのかなと思う。

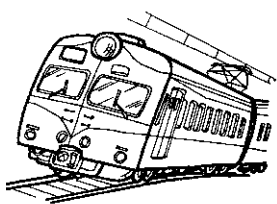
答 総務部長 検討委員会の発足は市議会議員選挙後の2月になる。学識経験者3

人、各団体8人、公募3人他、市議会議員4人など20人のメンバー。スピード感を持って取り組むようにしたい。

◆新駅活用の方が見えない

問 新駅は事実上市民負担なしで完成する。喜ばしいことだが、この駅を活用するグランドデザインが見えない。周辺開発の見通しはどうか。道路開発などを先行することとは考えられないか。

答 市長 「周辺地区」は第5次総合振興計画でも複合新拠点と位置付けている。新しい玄関口としてふさわしい地域として開発準備を進める。県に対して早期に市街化地域に編入出来るよう働きかけている。計画している63ヘクタールの全部になるかは確定してないが、遠い将来ではなく都市計画決定がいただけると思っている。



# 常任委員会の審査から

12月7日、8日に各常任委員会に付託された議案の審査が行われました。

委員会での主な審査内容を各常任委員長が要約しています。

## 総務・水道

### 第5次吉川市総合振興計画

#### 【基本構想】

今後10年間で、子ども、少子化、高齢者等大きな課題がある。組織改編の考えは。

子どもや少子化は、前期基本計画の重点テーマとして掲げ重要性は認識しています。組織改編は、庁内会議で検討をしました。子ども課などの考えも出されたが、国、県との関係などを考慮し断念した経緯があります。今後は、必要に応じて検討します。

どのようなまちづくりを進めていくのかわかりにくい。市のアンケートでは、「住みよい」が8割を超えるが他の自治体と比較しても珍しい例である。市民の意見が活かされているとは言い難い。職員の意識改革を進めるべきでは。

今回の総合振興計画の策定では、無作為抽出による市民参加の市民討議会の開催など多くの意見をいただき策定には、人の存在、育成、活動の場、しくみ等の視点を

持つて検討しました。

重要度、満足度をどう意識しているか。市民バスの要望があるが。

満足度、重要度は、事務事業に成果指標を設定して評価し、満足度の向上に取り組んでいます。公共交通は、路線バスを基本に考え対応が困難な場合は、福祉施策で対応する等事業間の連携を図ります。

産業まちづくり地域は、市民要望の位置付けとは考えにくい、位置づけの理由は。

三輪野江地域は、スマートインター、三輪野江バイパス、榎戸地域は東埼玉道路の吉川ランプ等周辺状況が大幅に変化することを想定、考慮しています。

賛成多数で可決  
一般会計補正予算

個人市民税の税額の推移と、法人市民税の補正内容は。平成23年11月現在、10万7千円、22年度では、10万9千円、21年度は、11万8千円と年々減少しています。

法人市民税は、業績持ち直しで、増額予算計上です。

賛成全員で可決

### 視察レポート

#### 茨城県つくば市・福島県会津若松市

10月17日～18日

総務水道、文教福祉、建設生活常任委員会と議会運営委員会の合同行政視察を実施しました。

17日に訪問したつくば市では、新庁舎建設についての視察を行いました。当市では、東日本大震災をきっかけに「庁舎建設等検討委員会」が設置されることとなっており、平成22年5月に新庁舎（地上7階）が建設されたつくば市の新庁舎建設に関する経緯等を伺いました。つくば市では庁舎建設審議会を設置し、三千人の市民を対象にアンケートを行う等、市民の声を積

極的に取り入れていました。



給食センター（会津若松市）

18日に訪問した会津若松市では、議会基本条例の制定と給食センターの運営について視察しました。議会基本条例については近年、各自治体で制定の動きが強まっており、会津若松市での制定までの経緯や議会基本条例の概要、制定後の成果や課題等についてお話を伺いました。

また、同市では、平成21年に学校給食センターを建設、供用を開始していただき視察させていただきました。



議場（つくば市）



## 文教・福祉

### 指定管理者の指定について

吉川市老人福祉センターの指定管理者である吉川市連合長寿会の指定管理の期間が平成24年3月31日をもって満了になるため、再度指定するもので、主な内容として「老人福祉センターを指定管理者に移行してから、財政面でのメリットはあったのか」の問いに、「平成22年度と平成17年度の決算を比較して、約

1千700万円の経費削減効果があった。業務委託料は毎年2千150万円支出しているが光熱水費の削減等による返還があり、実質2千万円程度となっている。今後1千700万円程度の削減効果が続いていくものと考えている」とのこと。また、「連合長寿会は任意の団体だが、税法上はみなし法人となっている」との答弁でした。

#### 賛成全員で可決

#### 一般会計補正予算

教育委員会所管分としては、

「第一給食センター建て替えの進捗状況は」の問いに、「不動産鑑定を基に9月から7名の地権者との交渉を重ね、用地取得の同意を得たところで今後は、税務署との協議後に正式な売買契約となり、開発公社による土地の先行取得を平成24年3月までに進める予定である。平成24年度に庁内の検討委員会で検討し、その後、業者によるPFI方式導入可能調査を予定し当初予算で要望している。PFI方式となった場合は平成25年度に業者選

定、土地の市への買い戻しの予定である」との答弁でした。健康福祉部所管分では、「生活保護の状況は」の問いに、「当初の見込みを超えて増えている。生活保護を受給されている方で多いのは、傷病に伴う収入減少、離職によるものが多く、また、高齢者で傷病が原因となっているケースも多い。リーマンショック以降で多かつた単なる離職による申請は、現在減ってきている」との答弁でした。

#### 賛成全員で可決

## 建設・生活

### 市営駐車場条例

審議前に現地視察。第9条の市長が料金を徴収しないものとは何か。また、細かく車両を定めるのか、との質疑に、救急車などの緊急車両や公用車である。規則に細かく定める考えはないとの答弁。

#### 賛成全員で可決

自転車駐車場条例の一部を改正する条例

放置自転車対策に何人くら

い配置し、どのくらい予算を見込んでいるのか。また、暫定終了後の自転車駐車場はどう考えているのか、また、西口駐車場の料金はどのようなのか。との質疑に、放置自転車対策として西口と東口に1人ずつ配置する。3月15日から31日分までで8万5千円を補正予算に計上しており、来年度予算も予定している。東口は5年間の暫定で、終了後も必要と思う。民間の駐車場の整備状況によって、必要であれば検討していきたい。西口

駐輪場は、移管された場合には他の駐輪場と同じ料金になる、との答弁。

#### 賛成全員で可決

吉川美南駅自由通路の設置及び管理に関する条例

エスカレーターは改札の中にもあるが、管理会社はJRと同じか。また、JRと協定等を通じて、一緒に管理するのか、との質疑に「JRとは別に管理する。券売機のシャッター手前からの自由通路部分を市が管理する」との答弁。

#### 賛成全員で可決

#### 一般会計補正予算

道路照明灯整備事業は、一般的なものなのか、との質疑に、現在ある道路照明灯の修繕料である。今年度は4割程度増えており、9月補正でもお願いしたが、再度、今回も補正をお願いした、との答弁。

#### 賛成全員で可決

下水道事業特別会計補正予算

#### 賛成全員で可決

農業集落排水事業特別会計補正予算

#### 賛成全員で可決



吉川美南駅自由通路の現地視察



老人福祉センター

# 審議結果

平成23年 第5回(11月)臨時会 ○=賛成、×=反対、\*=一部反対

議案名	自民	共産	公明	改革	無所属
平成23年度吉川市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○

平成23年 第6回(11月)臨時会

議案名	自民	共産	公明	改革	無所属
吉川市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	×	○	○	○
市長及び副市長の給与等に関する条例及び吉川市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○

平成23年 第7回(12月)定例会

議案名	自民	共産	公明	改革	無所属
地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件に関する条例	○	○	○	○	○
吉川市営駐車場条例	○	○	○	○	○
吉川市自転車駐車場条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○
吉川美南駅自由通路の設置及び管理に関する条例	○	○	○	○	○
彩の国さいたま人づくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○
第5次吉川市総合振興計画(基本構想)を定めることについて	○	×	○	○	○
指定管理者の指定について	○	○	○	○	○
平成23年度吉川市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○
平成23年度吉川市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○
平成23年度吉川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○
平成23年度吉川市水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○
埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について	○	○	○	○	○
ホームヘルプ・サービスの提供時間削減を行わないことを求める意見書	×	◎	×	○	×
民意を締め出す比例定数の削減をしないことを求める意見書	×	◎	×	×	×
障害者総合福祉法の早期制定を求める意見書	×	◎	×	×	×

自民=自由民主党吉川市議員団、共産=日本共産党吉川市議員団、公明=公明党吉川市議員団、改革=市民改革クラブ ◎=意見書を提出した会派

## 表紙写真の説明



2月4日に任期が満了となります。市民の皆様には4年間、限りないご支援をいただきありがとうございました。(市議会議員・議会事務局職員一同)

## 議会を傍聴しませんか

議会では、日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定しています。

今回の定例会は2月27日に開会する予定です。ぜひ、傍聴にお出かけください。

## 編集後記

日だまりで咲く「水仙」がほのかに香り早春を感じさせます。議員としての任期最後の12月定例議会は16日をもって閉会となり、現広報委員での編集も、この号で最後となります。昨年は東日本大震災でお亡くなりになられた方々への心からのお悔やみを胸に、今を生きる者の命の尊さを強く感じた一年でした。11月14日に開催された臨時会では、原発事故からの放射性物質除染対策事業費が計上され、現在、市内の除染作業が急ピッチで進められています。また、今議会の補正予算では新たな子育て支援センターの開設など、子育て支援が一層充実されました。次号では新委員での出発となります。これまで議会だよりをお読みいただき、誠にありがとうございました。

五十嵐 恵千子



議会広報委員会

- 発行 吉川市議会(平成24年2月1日)
- 編集 吉川市議会広報委員会 〒342-8501 埼玉県吉川市吉川二丁目1番地1
- ホームページアドレス <http://www.city.yoshikawa.saitama.jp>
- TEL&FAX 048-982-9421
- 「よしかわ議会だより」のテープ版は、朗読サークル「きんもくせい」の協力で作成しています。